



Planted by
Mr. Yoshiya SAKATA
President, UPR Corporation, Tokyo, Japan
25 July 2011

- 5年目の植林への取り組み1
- マレーシア2年目の植林活動2
- 植林成長レポート3
- シンガポール滞在記4

植林特集号 Vol.5

マレーシアでの2年目の植林活動

2011年7月24日(日)~27日(水) マレーシア・シンガポール



5年目の植林への取り組み

緑豊かな地球の未来のために今私たちが出来ること。そして木材を利用する企業として今当社が取り組むべきこと。

当社の植林活動も5年目を迎えました。インドネシアでの3年間の植林活動からマレーシアに移り今年は2年目、これまでに当社が植林を行った土地は東京ドームの10倍もの広さになりました。

木は長い時間をかけて成長していきます。私たちも植樹した苗木の成長を見守りながら、長い時間をかけて継続してこの活動に取り組んでいくことが大切だと考えています。(前川)

マレーシアでの植林も2年目を迎え 昨年植えた苗木も大きく成長しました。

マレーシア2年目の植林活動

マレーシアサラワク州の州都クチン市から南東へ車で走ること2時間、インドネシアとの国境が目と鼻の先に迫るところに植林地であるサバル森林保護地区があります。この地での植林は今回で2年目を迎えました。60年代にハイウェイ整備等による伐採があり、その後保全林として植林がされてきました。一部不成績地があり、サラワク州森林公社(SFC)が再植林のプロジェクトを進めてきました。そこに昨年当社も参画しています。



今回も植林参加メンバー全員で、フタバガキ科のカポールを植樹しました。ラインプランティングという方式で、直径15cmほどの穴を5m間隔で一列に掘り、そこに苗木を植えていきます。当日は天気にも恵まれ(帰路は突発的な豪雨に見舞われました)、絶好の植林活動日和でした。赤道に近い国なのでもちろん暑いです。現地村民の方々の指導の下、皆汗だくになって1本1本丁寧に植えていきました。

サバル保存林の 森林生態回復プロジェクト

国際緑化推進センター(JIFPRO)を通じ、マレーシアサラワク州サバル森林保護地区に3年間で12haの植林を実施します。(協力機関:サラワク森林公社)

財団法人国際緑化推進センター
Japan International Forestry Promotion and Cooperation Center

SARAWAK FORESTRY CORPORATION



サラワク森林公社の責任者Juliaihl氏と



現地で実際に体験して感じたのは、とにかく重労働だということです。1ha当り400本程度植えるわけですから、まずその分の穴を掘らなければなりません。また、苗木を運ぶのも当然トラックで現場まで入れません。人が背負い(せいぜい7本程度とのこと)、車と山中を歩いて往復することになります。

SFCには、樹木に対する害虫や病気の専門スタッフがおり、単に植樹して終わりではなく、継続して成長をチェックしていきます。

改めて、植林活動は苗木を植えて成木に育てるまで長い歳月をかけ、地道な努力が必要だと感じました。(伊藤)

uprはこれからも熱帯雨林保護・再生のために
苗木を植え、その成長を見守り続けていきます。



UPR Corporation

「選べるパレット 探せるパレット
レンタルパレットの未来を切開く」



植林活動を終えて

前回植林した苗木が着実に大きく育っているのを見るとあらためて生命の力強さを感じるとともに現地スタッフの方のご苦労が伝わってきました。

私達の手で植えた苗木は数本でしたが、直接大地に触れることができその温もりや匂いも感じ取ることができました。

また、サラワク森林公社の方をはじめ、スタッフの皆様はたいへんフレンドリーで異国の地にいるという事を忘れてしまう様でした。汗をかいた後にみんなで食べた弁当はとてもおいしかったです。(東)



成長レポート

昨年植えた木は今…

2010年



2011年



昨年2010年11月に植林された苗木も肩の高さ位まで成長しました!

異常気象の多い中、サラワク森林公社の皆様のおかげもあって、50cm位の苗木が150cm位まで無事育ちました。来年の訪問時には更にどれくらい成長しているのか、今から楽しみです。今後も苗木の成長を見守ってまいります。

マレーシア・シンガポール滞在記



ラクサ



ドリアン



リバークルーズ

マレーシア編 (東)

私達が宿泊したクチンはマレー語で猫を意味し、ホテルの前のロータリーには大きな猫の彫像もありました。初日の夕方はサラワク・リバー・クルーズで約1時間半、水上遊覧しました。翌日の朝食は酒田社長お勧めの「ラクサ」という麺料理、とてもおいしくスープまで完食しました。そして植林地へ向かう途中で立ち寄ったセリアンの市場で果物の王様と呼ばれる「ドリアン」を初めて食べました。新鮮なものということで噂に聞く臭いはありませんでした。サラワク森林公社の方々と夕食の海鮮料理も大変おいしく機会があれば又訪れたいと感じました。

シンガポール編 (中野) ホテルマリーナベイサンズに宿泊

2010年の実質経済成長率14%に達するなど高度経済が続くシンガポール。右の写真はマーライオン公園から見る、スマップのCMで有名なホテルMarina Bay Sandsです。カジノや大型ショッピングセンターを初め、地上200mの屋上には全長150mの巨大プールが備えられています。部屋からはロンドン、ニューヨーク、香港に次ぐ世界第4位の金融センター街と海側にはコンテナ貨物取扱量で世界トップを競う、アジア最大級の壮大なハブ港を見渡せる事が出来、今の経済発展を続けるシンガポールを象徴するような光景を体験させて頂きました。



アイスカチャン(かき氷)

シンガポールではかき氷の事をアイスカチャン(Ice kacang)と呼ぶそうです。かき氷の上には日本では考えられないトウモロコシがトッピング。一年中暑いシンガポールでは絶品でした!

バクテー(肉骨茶)

一言で言うと「スペアリブの漢方煮」。実際はあっさりしておいしくご飯との相性は抜群です。労働者が体力をつけるために食べていたそうです。

2011年度植林メンバー



中野 正樹
Masaki Nakano
部署/東京営業所



東 修
Osamu Higashi
部署/山口営業所



伊藤 洋章
Hiroaki Ito
部署/SCM本部



前川 希
Nozomi Maekawa
部署/広報室



「選べるパレット 探せるパレット」
レンタルパレットの未来を切開く

ユーピーアール株式会社

- 東京本社 〒105-0004 東京都港区新橋 6-9-4
新橋 6 丁目ビル 3F
Tel : (03)3435-9141 Fax : (03)3435-9149
 - 宇部本社 〒759-0134 山口県宇部市善和川東 541-12
Tel : (0836)62-1112 Fax : (0836)62-1417
 - 営業所 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・山口・福岡
- UPR Corporation URL : <http://www.upr-net.co.jp>